

次代を担う

～青年中央会の会員紹介～

「三重県中小企業青年中央会」は、三重県中小企業団体中央会の会員組合に組織されている青年部を会員としています。会員相互の連携と組合青年部等の事業活動を強化することにより、次世代を担う指導者の養成を図り、中小企業並びに組合の事業活動促進、企業の振興発展に寄与することを目的としています。

ここでは、青年中央会会員である組合青年部さんをご紹介します。

三重県生コンクリート工業組合

青年部部長 廣嶋伸二^(ひろしましんじ)氏



青年部部長
廣嶋伸二氏

当組合の青年部部長である廣嶋伸二氏は、廣嶋建材株式会社の代表取締役であり、同社は昭和31年の創業以来、生コンクリート製造販売、砂利採取業を中心に事業を実施し、現在では土木工事等の建設業やリサイクル事業も行っています。

廣嶋氏は、入社当初、建設業務に携わっていたそうですが、2年ほど経った頃、生コンクリート試験室で品質管理等の職務を任されることになり、コンクリートメーカーの生コン学校で試験室の基礎を学び、その後コンクリート技士の資格を取得しました。

そして、試験室での業務に2～3年携わり、その後は、建設業務に携わっています。

廣嶋氏は、ご自身が建設と生コンの両方の職務に就くことができ、両方からの視点で業務を考えることができる点が、現在、とても役立っているそうで、企業の強みともなっています。

当組合青年部は平成14年7月に設立され、現在、部員数は26名で、これまでの主な活動内容は、勉強会、視察旅行、そして近隣小学校での卒業生による生コンクリートで固めたタイムカプセル製作等です。

廣嶋氏は、周囲からの勧めにより青年部に加入し、平成28年6月には青年部部長に就任しました。

勉強会では、債権管理や社内でのセクハラ・パワハラの防止など身近に起きそうなことへの対処方法などを学んでいます。

視察研修では、他県の工場を訪問して最先端プラントの視察や最新技術の研修、協同組合の成功事例について学ぶこと

が多いそうです。

そして、近隣小学校の卒業生を対象に生コンクリートでタイムカプセルを製作する事業では、記念植樹等とともに

タイムカプセルを贈呈し、地域社会への貢献事業を行ってきました。

更に、今年3月に建設業協会青年部が当組合青年部との意見交換会を開催したところ、生コンクリートの売り手と買い手の立場から、現場での対応に関する意見や要望等、活発に意見交換が行われ、大変好評でした。

これをきっかけに建設業協会の青年部が行っている小学校への出前事業に当組合青年部からも参加することとなり、子どもたちと一緒にセメント・砂・砂利・水を練り混ぜてコンクリートをつくりました。

他団体と協力関係を築くことができたことを有意義に思い、また、この活動から小学生に建設のことを親しく感じてもらい、将来の職業選択の1つとして挙げてもらえるようになればと、廣嶋氏は話します。

当組合青年部部長の任期は2年です。廣嶋氏に後任者へ話したいことについて何うと、「私はこの生コン青年部で約15年間お世話になり、事業を通じてたくさんの仲間が増え、地元だけでなく、三重県で活躍されている方々と出会える場として大変有意義なものとなりました。これからも青年部として、近隣小学校への地域貢献などを含めて生コンクリートをもっと身近なものとして知ってもらえる様な事業活動を後任者にはお願いしたいと思います。また今年新しく加入された方達にも積極的にゴルフコンペや親睦会に参加してもらい、青年部活動に気軽に参加してもらえる雰囲気を作って活発な意見交換のできる生コン青年部としての活躍を期待します。」と話されました。



出前授業に当青年部が協力したときの模様



コンクリート製卒業記念タイムカプセルの贈呈と記念植樹の様様